

## グループ学習のまとめのタイトル

コース・専攻：総合芸術コース美術・工芸専攻

グループ名：游釉イレブン

メンバー：有末・大橋・野中・橋本・平井・松井・村上・森岡・山田・山本・脇野

- 趣旨** 釉薬の特性を知り、個性あふれる**作品**作りに取り組む。  
基本を知ること、個々の個性を表現する材料とし、作陶に生かし、個性あふれる作品を作る。
- 調査方法** 資料で検索し、釉薬のつけ時間を知り、フィールドワークで得た内容も加味し、つけ時間の設定を行い、テストピースで、検証する。また、形状の異なる作品では、垂れを生じるので、流れについても同時に検証を行う。釉薬は、一重掛けだけでなく二重掛けなども行うため、様々なしのぎを通して、それらの検証もする。また、厚みに関して同時に検証を行う。これらの検証の結果、陶材メーカーの資料の最大時間でも垂れを生じないことが判り、厚みも、目視では、発色の違いは見られず、作品作りに生かせることが判った。また、掛け方の特性(刷毛引き・コンプレッサー)も確認することができた。様々なしのぎ(縦・横・格子・斜め)で、一重掛けでは、垂れは見られず、それぞれの発色の面白さが得られた。二重掛けは、流れにくい釉薬の上に流れやすい釉薬をかけるのは、問題なかったが、その逆は、大きく流れる結果が得られた。  
今後は、これらの結果を踏まえて、作品作りをしていきたい。

